



2026 鈴鹿4時間耐久ロードレース開催について

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)は、2026年9月6日に「2026 鈴鹿4時間耐久ロードレース(以下、鈴鹿4耐)」を開催します。

鈴鹿4耐は、若手・中堅ライダーが「鈴鹿8時間耐久ロードレース(以下、鈴鹿8耐)」への参戦を目指す登竜門として1980年より開催されてまいりましたが、鈴鹿4耐から鈴鹿8耐へのステップアップが減少傾向にあった当時の環境を踏まえ、2024年大会をもって一旦の幕を下ろしました。

今回の開催にあたり当社では、鈴鹿4耐を耐久ライダーおよびチームの育成だけでなく、未来に向けた車両・部品開発を加速させる場、国内耐久レースの活性化に繋がる中核イベントとして位置づけ、ご協賛各社様をはじめとする関係者の皆様と協議しながら、耐久レースの魅力を次世代へ伝える取り組みを推進してまいります。

2026 鈴鹿4時間耐久ロードレース 開催概要

大会名称： 2026 鈴鹿4時間耐久ロードレース

主催： ホンダモビリティランド株式会社

協賛： 本田技研工業株式会社、株式会社ブリヂストン

会場： 鈴鹿サーキット レーシングコース（1周5.821km）

競技会格式： 準国際競技会

開催日程： 2026年9月4日(金) – 6日(日)

9月4日 (金) 特別スポーツ走行

9月5日 (土) 予選

9月6日 (日) 決勝

※9月5日(土) 開催 2026 FUN&RUN!2-Wheels併催

出場台数： 最大50台

開催クラス： (1) 8H Challenge-class
U30ライダーを含むチーム構成を条件に、各サポートを受けながら鈴鹿8耐を目標とするクラス

(2) Fun-class

-1 インター 4 hours : FIMライセンス、MFJ国際ライセンス保持者を含むチーム。

-2 ナショナル 4 hours : MFJ国内ライセンス保持者のみのチーム。

個人参加者などを中心に、自身のスキルアップや耐久レースを楽しむ為に参加する方向けのクラス

(3) D-class (開発クラス) ※賞典外

車両・部品開発やサステナビリティへの取り組みを目的とするクラス

参加車両： 2026年MFJ国内競技規則 ST600技術仕様に準拠(詳細は大会規則書に記載)